

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

改善事例発表大会2026

関東地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ～改善事例発表大会の開催に寄せて～

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでにない気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人材育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの**「現場力」**をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
 会長 河合 満
 (トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！

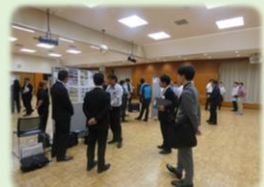
→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。

2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。

3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。



発表企業

企業名50音順
 法人格略

発表数：**10社14事例**！発表事例数、増加中！！

旭化成	東レ
サントリープロダクツ	トーコン
ジャトコ	日産自動車
JFEスチール	富士フイルムマテリアル マニファクチャリング
SUBARU	レゾナック

開催情報（関東地域）

2026年6月25日（木）開催
曳舟文化センター（東京都墨田区）

今大会の関東地域では、下記の発表傾向の特色がみられます

設備の管理方法
 ・**基準の見直し**

品質の安定化
 ・**向上**

人材育成

改良保全

設備の
信頼性向上

イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間

発表情報

9:15▶

開場・受付開始

9:45▶9:55

開会のあいさつ

事例
1

9:55

▼
10:15

運転・製造 HEVモーター組立ライン
自主保全力向上によるコスト削減

日産自動車株式会社 横浜工場
第一製造部 アクスル・電動パワートレイン課

晝間 雅吉

<発表キーワード>

- ・自主保全
- ・人財育成
- ・コストダウン

事例
2

10:15

▼
10:35

工務・保全 繰り返し故障からの脱却！
起振力テスター入力軸ベアリングユニット故障撲滅

ジヤトコ株式会社 富士第2地区
工務部 保全技術課

橋口 正矢

<発表キーワード>

- ・設備の管理方法・基準の見直し
- ・予防保全・予知保全

10:35▶10:45

休憩

事例
3

10:45

▼
11:05

運転・製造 I-NexT生産体制の構築で目指せ5%増産

富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社
神奈川事業場 神奈川第一製造本部
インスタント生産部 リーダー

里吉 翔伍

<発表キーワード>

- ・作業の効率化・容易化

事例
4

11:05

▼
11:25

工務・保全 呼出削減による改善活動計画の実行性強化

東レ株式会社 土浦工場
工務保全課

望月 辰也

<発表キーワード>

- ・設備の管理方法・基準の見直し
- ・計画保全
- ・作業の効率化・容易化

事例
5

11:25

▼
11:45

工務・保全 酸洗 塩酸回収 緊急炉修対策の軌跡

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所京浜地区
京浜熱延設備室 リーダー

高橋 隆治

<発表キーワード>

- ・設備の信頼性向上
- ・設備の管理方法・基準の見直し
- ・改良保全

11:45▶12:30

昼休憩(昼食のご提供はございません)

事例
6

12:30

▼
12:50

運転・製造 樹脂原料乾燥系生菌対策

株式会社レゾナック 基礎化学品事業部
川崎事業所 千鳥製造部 AX課 運転主任

中島 知宏

<発表キーワード>

- ・コストダウン
- ・品質安定化・向上

事例
7

12:50

▼
13:10

工務・保全 マグネシウム鑄造機
溶湯品質改善による給湯量安定化

ジヤトコ株式会社 素形材工場
工務部 保全技術課

佐川 真都

<発表キーワード>






- ・設備の信頼性向上
- ・品質安定化・向上
- ・改良保全

13:10▶13:20

休憩

事例 8	13:20 ▼ 13:40	製造・運転 廃棄塗料“ゼロ”～その塗料、まだ働けます～	高沢 優人	<発表キーワード> ・コストダウン ・作業の効率化・容易化
	株式会社SUBARU モノづくり本部 第1製造部 第1成形塗装課			
事例 9	13:40 ▼ 14:00	運転・製造 浮島 完全無災害達成までの軌跡	鎌田 康晃	<発表キーワード> ・安全 ・人財育成
	旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係			
事例 10	14:00 ▼ 14:20	運転・製造 プレス洗浄機 最適設定による星目発生率の低減	下津 成弘	<発表キーワード> ・品質安定化・向上 ・設備の管理方法・基準の見直し ・改善活動の水平展開
	日産自動車株式会社 追浜工場 製造部 圧造課			
14:20▶14:30		休憩		
事例 11	14:30 ▼ 14:50	運転・製造 印刷版加工故障削減活動	内田 要	<発表キーワード> ・品質安定化・向上 ・作業の効率化・容易化 ・設備の管理方法・基準の見直し
	富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社 吉田製造本部 南サイト 加工部第一加工課第一係 係長			
事例 12	14:50 ▼ 15:10	運転・製造 ラベラートラブル対応アプリ開発	白木 豪	<発表キーワード> ・デジタル技術を利用した改善 ・作業効率化・容易化 ・人財育成
	サントリープロダクツ株式会社 榛名工場 製造部門（包装第2）			
15:10▶15:20		休憩		
事例 13	15:20 ▼ 15:40	運転・製造 映像エビデンスによる出荷証明	木村 慎也	<発表キーワード> ・品質安定化・向上 ・設備の管理方法・基準の見直し ・デジタル技術を利用した改善
	株式会社トーコン 静岡事業所 所長			
事例 14	15:40 ▼ 16:00	工務・保全 デジタル技術による予知保全の推進	鮫島 卓	<発表キーワード> ・予防保全・予知保全 ・作業の効率化・容易化 ・設備の管理方法・基準の見直し
	日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部 エンジン課 専門工長			
16:00▶16:10		休憩		
16:10▶16:50		発表者との交流会		
16:50▶17:05		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
17:05▶17:20		表彰式		

※ プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください

<p>事例1</p> 	<p>HEVモーター組立ライン 自主保全力向上によるコスト削減</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部 アクスル・電動パワートレイン課</p> <p>晝間 雅吉</p> <p>保全部署で実施していた点検・整備を保全部署と共同で行い設備に対する知識技能を高めた。さらに組内に拡大し製造で点検整備を実施するよう取り組み、自主保全力向上を図った事例を発表する。</p>	<p>事例5</p> 	<p>酸洗 塩酸回収 緊急炉修対策の軌跡</p> <p>JFEスチール株式会社 東日本製鉄所京浜地区 京浜熱延設備室 リーダー</p> <p>高橋 隆治</p> <p>インペラーへの付着物堆積により振動値が上昇し、設備停止が頻発する課題があった。酸スプレーノズルの改善により堆積は減少したものの、付着レスには至らなかった。そこで、各部署横断で前例にとられない改善を進めた結果、酸を消費せずにブローを運転できる新たな作業方法を見だし、付着ゼロを達成した。これにより振動異常を解消し、安定稼働につなげた事例を発表する。</p>
<p>事例2</p> 	<p>繰り返し故障からの脱却！ 起振力テスター入力軸ベアリングユニット故障撲滅</p> <p>ジヤトコ株式会社 富士第2次区 工務部 保全技術課</p> <p>橋口 正矢</p> <p>CVTユニットのテスト機で、繰り返し故障となっていたベアリングユニットがロックする不具合の原因を解明し予防保全に繋げた事例を発表する。</p>	<p>事例6</p> 	<p>樹脂原料乾燥系生菌対策</p> <p>株式会社レゾナック 基礎化学品事業部 川崎事業所 千鳥製造部 AX課 運転主任</p> <p>中島 知宏</p> <p>樹脂原料乾燥工程で再発した一般生菌品質異常に対し、レゾナック独自の問題解決手法DMAICLを適用。過去対策を再評価し原因を再究明することで、2025年までに生菌数基準内・品質異常ゼロを目指した改善事例を発表する。</p>
<p>事例3</p> 	<p>I-NexT生産体制の構築で目指せ5%増産</p> <p>富士フィルムマテリアル マニュファクチャリング株式会社 神奈川事業場 神奈川第一製造本部 インスタント生産部 リーダー</p> <p>里吉 翔伍</p> <p>インスタント写真市場の需要増に応えるため、工場では生産能力向上プロジェクト「I-NexT pj1」を開始。「1パックでも多く作る」をスローガンにTPS手法を導入し、全員参加で取り組んだ結果、稼働時間を1日40分向上させるとともに、ベテランの協力意識向上や職場環境の改善にもつながった事例を発表する。</p>	<p>事例7</p> 	<p>マグネシウム鑄造機 溶湯品質改善による給湯量安定化</p> <p>ジヤトコ株式会社 素形材工場 工務部 保全技術課</p> <p>佐川 真都</p> <p>「新しいことを恐れず、全員で挑戦する」を活動の柱に掲げ、特殊な設備で発生していた前例のない品質不良に対して8の字サイクルを回した。自分たちで設定した新たな基準値目標を達成することで、品質不良の解消につなげた事例を発表する。</p>
<p>事例4</p> 	<p>呼出削減による改善活動計画の実行性強化</p> <p>東レ株式会社 土浦工場 工務保全課</p> <p>望月 辰也</p> <p>計画的な改善活動に注力するため、その妨げとなる突発作業、特に呼出対応の削減に取り組んだ。呼出対応の主要3項目をターゲットに設定し、作業の見直しやトラブル原因の究明を進めた結果、呼出件数の半減を達成した。その結果、改善活動計画の実効性が高まり、設備故障発生率も過去最良を更新した事例を発表する。</p>	<p>事例8</p> 	<p>廃棄塗料“ゼロ”～その塗料、まだ働けます～</p> <p>株式会社SUBARU モノづくり本部 第1製造部 第1成形塗装課</p> <p>高沢 優人</p> <p>塗料フィルター交換時に発生し、従来は当然のように廃棄していた塗料に着目した。再利用を可能にする設備改善と管理・運用ルールを確立し、コスト削減と作業負荷の低減を実現した事例を発表する。</p>

<p>事例 9</p> <p>S</p>	<p>浮島 完全無災害達成までの軌跡</p> <p>旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係</p> <p>鎌田 康晃</p> <p>歴史的に、重大災害を繰り返して来た浮島の集団が、近年急激に若返り見違えるように生き生きとし、効率良くPDCAを回す事で、やる気と笑顔に満ち溢れる組織へと変革した。結果、多くの人財が育ち、2年連続完全無災害を達成、安全、安定、安心操業を各々が、やらされ感ではなく継続し、事業収益も24年度、過去最大に迫る黒字化を達成した。この浮島集団の軌跡を解き明かした事例を発表する。</p>	<p>ラベラートラブル対応アプリ開発</p> <p>サントリープロダクツ株式会社 榛名工場 製造部門（包装第2）</p> <p>白木 豪</p> <p>事例 12</p> <p>P</p> <p>非常作業の難易度や知識の属人化によりOJT期間を6ヶ月要していた。手順確認アプリを新規開発し作業を標準化したことで3ヶ月へ半減。教育効率と現場戦力化のスピードを大幅に向上させた事例を発表する。</p>
<p>事例 10</p> <p>Q</p>	<p>プレス洗浄機 最適設定による星目発生率の低減</p> <p>日産自動車株式会社 追浜工場 製造部 圧造課</p> <p>下津 成弘</p> <p>過去から発生しているプレス品質不具合【星目】低減活動を実施するために3本の柱で改善計画を実施している。今回は設備最適設定での洗浄機機能を最大限に活用した取り組みで効果が認められた改善事例を発表する。</p>	<p>映像エビデンスによる出荷証明</p> <p>株式会社トーコン 静岡事業所 所長</p> <p>木村 慎也</p> <p>事例 13</p> <p>Q</p> <p>顧客からの「商品の不足」というクレームに対し、DXによる可視化システムを構築した。出荷時の映像エビデンスを取得して出荷事実の証明を可能にした結果、クレーム発生比率を99%削減することに成功した事例を発表する。</p>
<p>事例 11</p> <p>P</p>	<p>印刷版加工故障削減活動</p> <p>富士フィルムマテリアル マニファクチャリング株式会社 吉田製造本部 南サイト 加工部第一加工課第一係 係長</p> <p>内田 要</p> <p>印刷版加工で設備更新と故障削減に取り組み、作業負荷も考慮した改善を実施。KT法やデータ分析の重要性も学び、生産性向上を図った事例を発表する。</p>	<p>デジタル技術による予知保全の推進</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部 エンジン課 専門工長</p> <p>鮫島 卓</p> <p>事例 14</p> <p>Q</p> <p>ミクロン単位の精度が要求される設備に対し、IoTを活用したデジタルツールでサーボデータを分析することで異常兆候を早期に把握し、品質不良や停止時間の低減を実現した。さらに、得られた知見を若手への指導に活用し、人財育成にもつなげた事例を発表する。</p>

P：生産性に関する事例

Q：品質に関する事例

C：コスト・原価低減に関する事例

D：納期・リードタイムに関する事例

S：安全（労働安全・防災等）に関する事例

M：士気・組織活動・働きがい等に関する事例

E：環境・カーボンニュートラルに関する事例

O：その他

あなたの現場に活かせるヒントや
刺激が盛りだくさん！



改善事例発表大会の特徴

『いま』の現場最前線の改善が集結！

『設備管理・保全事例』のトレンドが聴ける！

あなたの困りごとの解決のヒントがある！

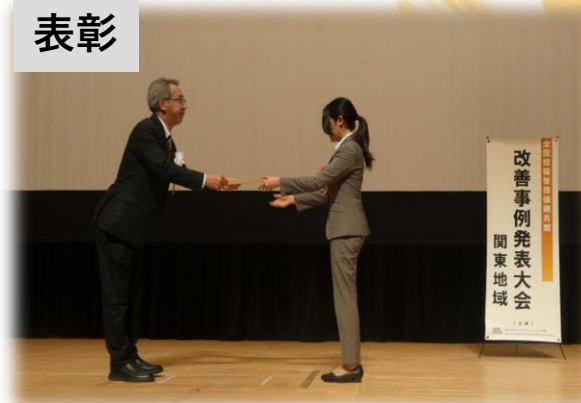
発表⇔交流で広がる、新たな人脈とアイデア！

改善事例発表大会の様子

発表



表彰



質問



聴講



交流会



交流会では、発表者の方から直接お話を伺うことができます！
成功体験はもちろん、失敗体験も聞くことで、自職場の悩みや不安の
解消、課題解決のヒントを見つけてみませんか？



大会参加者からの感想

- ・現場での改善にとどまらず、他工場や他メーカーにも横展開できる内容だった
- ・他分野の企業様の改善事例を生で聞くことで、新たな視点が得られた
- ・現場の実態を踏まえた改善取組みは、自職場でも再現性が高く感じられた
- ・多種業種の事例を通じ、共通するヒントが得られ、モチベーションが向上した
- ・指導・教育を実施するための参考になった など

今年度の改善事例は？

現場の最新の改善事例を**全国7地域・約60社・約100事例発表**予定です。

次世代の現場改善とは？ 自職場の**改善のヒント**にお役立てください！

地域ごとに特別企画や交流会を開催します！

その地域でしか聴講することができない**企画が多数**！

各地域のプログラムは、HPに掲載いたします。

北陸地域

◆6月30日（火）

アイシン軽金属株式会社
コマニー株式会社
デュポン・MCC株式会社
東レ株式会社
株式会社不二越

西日本地域

◆6月17日（水）

アイシン九州株式会社
旭化成株式会社
クラサケミカル株式会社
住友化学株式会社
東ソー株式会社
トヨタ自動車九州株式会社
トヨタ紡績九州株式会社
日本ゼオン株式会社
マツダ株式会社
UBE株式会社

中国・四国地域

◆6月19日（金）

倉敷化工株式会社
サントリープロダクツ株式会社
JFEスチール株式会社
住共エンジニアリング株式会社
住友化学株式会社
住友共同電力株式会社
東レ株式会社
徳山積水工業株式会社
株式会社ヒロテック
PSジャパン株式会社
マツダ株式会社
リョービミラサカ株式会社

東北・北海道地域

◆6月19日（金）

アイシン東北株式会社
アイシン高丘東北株式会社
サタケ東北株式会社
JFEスチール株式会社
株式会社デンソー岩手
トヨタ自動車東日本株式会社
トヨタ自動車北海道株式会社
日産自動車株式会社
日本製鉄株式会社

関東地域

◆6月25日（木）

旭化成株式会社
サントリープロダクツ株式会社
シヤトコ株式会社
JFEスチール株式会社
株式会社SUBARU
東レ株式会社
株式会社トーコン
日産自動車株式会社
富士フイルムマテリアルソリューションズ株式会社
株式会社レゾナック

中部地域

◆5月22日（金）

愛三工業株式会社
株式会社アイシン
アイシン高丘株式会社
愛知機械工業株式会社
愛知製鋼株式会社
石原産業株式会社
出光興産株式会社
イビデン株式会社
サントリープロダクツ株式会社
JFEスチール株式会社
大同テクニカ株式会社
大同特殊鋼株式会社
宝石油機工株式会社
株式会社デンソー
株式会社東海理化
東レ株式会社
豊田合成株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田自動織機
トヨタ車体株式会社
トヨタ紡織株式会社
日本製鉄株式会社株式会社
ライテラジャパン株式会社

関西地域

◆6月12日（金）

旭化成株式会社
株式会社クボタ
グンゼ株式会社
株式会社神戸製鋼所
サカタインクス株式会社
サントリープロダクツ株式会社
シスメックス株式会社
ダイキン工業株式会社
東レ株式会社
日本製鉄株式会社

改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイト をご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者 懇話会会員 価格※3	ご招待
会員※1	一般	会員※1	一般		
17,600円	24,200円	9,900円	14,300円		

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付**いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込み**ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付**いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2026年6月16日(火)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp